

---

# 不可解なコトバアソビ

希羽

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

不可解なコトバアソビ

### 【Nコード】

N1935I

### 【作者名】

希羽

### 【あらすじ】

さて、あなたはこの言葉たちの意味がわかるでしょうか？

この世にはこんな不可解な話があるのです。

## 孤独死

「警部！今回の事件の捜査結果を報告します！」

「たのむ。」

「発見された遺体は34歳住所不定無職、杉田弘文という男性で、親族については両親二人と叔父が一人おりましたが父親は交通事故で15年前に他界。母親は病気で3年前に亡くなっています。叔父

についても数年前、旅行中に事故に巻き込まれ亡くなっています。」

「そうか、現場は？」

「遺体が見つかったのは登山客用の休憩場です。かなり山の深くまで入りこんだ所で車は通れず、この時期には登山も困難なため誰も登山には訪れておらず、ひとりでやまに登ったと思われます。最後に杉田の友人が杉田と会ったのはその2週間ほど前で、その後は連絡をとっていないそうです。杉田のものと思われる車が、遺体が発見される10日前から山の麓の道に止められているとのこと、杉田が山に登ったのもおそらく10日前と思われます。今に至るまで警察関係者以外はその付近には立ち寄っていないため、おそらくその日から杉田一人でその小屋にこもっていたのでしょう。」

「遺体の状況は？」

「はい。非常に酷い状態で、何度か自殺を試みたのか身体に自分で残したと思われる無数の傷あとがあり、やっと警官が駆けつけたときには、顔はまだ本人とわかるものの、腐敗はかなりすすんでいたとのことです。」

（わかりますか？不可解ですよね？杉田は孤独に耐えられなかったために、『孤独死』していませんのです。）

## 朝の会

先生は朝の会で必ず僕の席のほうをみて何かをメモする。

毎日毎日毎日、僕だけの席のほうをみて何かをメモするんだ。

もしかしたら、たまに他のやつ席のほうもみて何かをメモするかも知れない。

でも毎日なのは僕だけだ。

そして他の生徒達は、絶対にそのことには目をつぶる。

気にもかけず、放っておくんだ。

きつとそうなんだ！

( わかりますか？ 『僕』には本当のことはわからないのです。 )

この世には不完全ゆえに、不可解な言葉が無数に存在しています。

「ちがう!! 右を向くんだ!! そうじゃない右だ!!」

「前を向くな右だ!!」

(人間は向いているほうが常に 前 です。)

「それが黒人であるか白人であるかにかかわらず、差別をする人を私は決して許さない！」

）言っちゃいましたね。  
（

「世界のほかのどんな物よりも君以上に僕が好きな人はいない」と  
思わず叫ぶ。

（実際はどうなんでしょう？）

関係者立ち入り禁止。

(関係ないという関係・・・)

「なんだあれは？まったく見えないぞ。」

(誰か言ってそう)

わたしはつぎの言葉でかならずあなたの期待をつらぎる





笑

(後書き)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1935i/>

---

不可解なコトバアソビ

2010年12月29日19時44分発行